

学生ピアサポーターの養成と活動

支援室では、学生ピアサポーターを養成し、障害のある学生を学生同士が仲間として支えあう「ピアサポーター活動」を行っています。学生ピアサポーターは、ピアサポートセミナーを受講し、障害への理解を深めるとともに、支援技術を習得した上で、支援活動にも携わっています。

障害学生への支援(例)

●情報保障(パソコンノートテイクのサポート)

各授業(本人からの依頼の下)の情報保障を行うために、パソコンノートテイクを実施し、授業内容等をパソコンノートテイクしていきます。

※授業によっては、手書きのノートテイクも実施。



●移動介助

車椅子ユーザーの学生、杖歩行の学生等の移動介助を行っています。

主に悪天候や積雪時に、ピア学生が先導し前方の安全を確認しながら、移動をサポートします。



●冬季 除雪のピアサポート

降雪時の移動通路確保のため、車椅子専用駐車場やスロープを中心に除雪を行っています。



ピアサポートセミナー(講習会・研修会)

学期中、1ヶ月に1回程度開催しています。講習会では、様々な障害についての知識を得ることができ、研修では、実技(技術)を習得することができます。



防災体験(救護用ペルカ担架使用)



講習会の様子



パラスポーツ体験(ボッチャ)

ピアサポート活動を試みませんか

支援室では、学生ピアサポーターを募集をしています。毎年新学期に開催する「募集説明会」に参加し、登録申込みが必要です。年度途中からの加入も歓迎します。

関心のある方は、お気軽に支援室までお問い合わせください。

アクセシビリティリーダー育成プログラム(ALP)

富山大学では、2009年からアクセシビリティ育成協議会の会員となり、「ひとにやさしい社会」をリードする人材「アクセシビリティリーダー(AL)」の育成プログラムを推進しています。

参加学生はこのプログラムを通して、個人や社会、環境や状況の多様性や、様々な文脈におけるアクセシビリティに関する「意識・知識・経験・技術」を学んでいます。どなたでも参加でき、在学中に認定資格(1級・2級)を取得できます。

また、1級を取得した学生は、選抜でALキャンプに参加することができ、他大学の学生や企業の方々とも交流することができます。

●関連情報 アクセシビリティリーダー育成協議会
<https://al-pc.jp/web/alp/>

アクセシビリティ・マップ(バリアフリーマップ)



富山大学のアクセシビリティの状況を発信するため、全キャンパス(五福・高岡・杉谷)のアクセシビリティ・マップを公開しています。バリアフリー情報はもちろん、障害の有無にかかわらず富山大学を利用する多くの方に向けて、アクセシビリティの状況を伝えるよう汎用性のあるものとしています。なお、作成に当たっては、障害学生の意見を取り入れて調査項目を選定し、調査活動は学生ピアサポーター等が行いました。

●本学公式ウェブサイトに掲載されています。

トップページ ▶ アクセス・キャンパスマップ ▶ アクセシビリティ・マップ(バリアフリーマップ)
<http://www.u-toyama.ac.jp/access/accessibility/>



ア ク セ ス

富山大学 教育・学生支援機構 学生支援センター

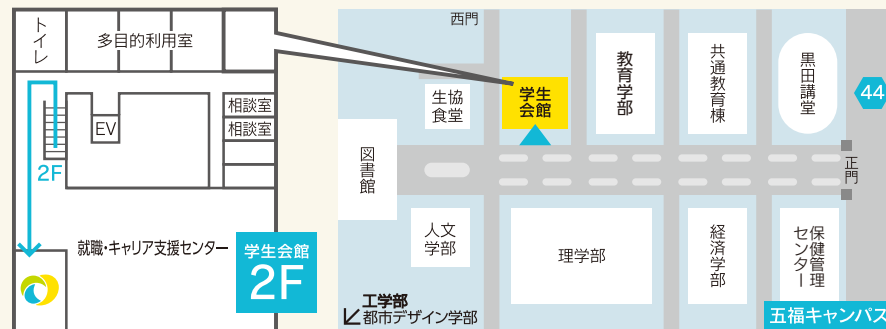


アクセシビリティ・コミュニケーション支援室
Hub for Accessibility and Communication Support

【開室時間】 月曜～金曜 9:00～17:00(祝休日を除く)

〒930-8555 富山市五福3190
TEL 076-445-6910(FAX兼)
E-mail: hacs@ctg.u-toyama.ac.jp

【支援室HPはこちら】 本学公式ウェブサイトトップ ▶ 在学生の方 ▶ 学生生活 ▶ 支援室
<http://www3.u-toyama.ac.jp/support/communication/index.html>



高岡キャンパス・杉谷キャンパスでも
相談を受け付けます。

富山大学は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領を制定しました。本学公式ウェブサイトトップページ ▶ 大学紹介 ▶ 情報公開 ▶ 大学運営に関する情報に掲載しています。
<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/information/public/normalization/>

富山大学 教育・学生支援機構 学生支援センター
アクセシビリティ・コミュニケーション支援室
Hub for Accessibility and Communication Support

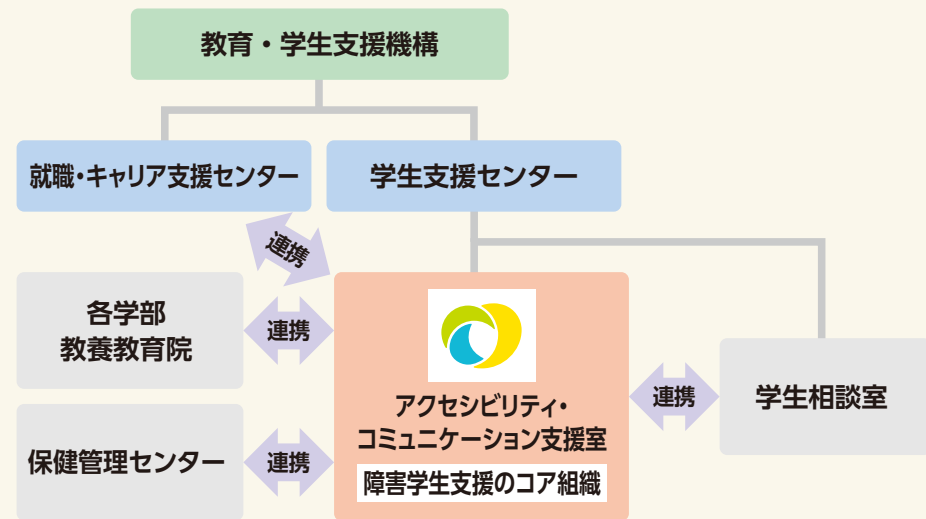


アクセシビリティ・コミュニケーション支援室では
専任のスタッフが個々の学生の「困りごと」や「問題」に向き合い、
それらの解決・解消に向けて修学支援を行っています。

富山大学の障害学生支援

富山大学では、在籍する障害のある学生が障害のない学生と分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら学生生活を送ることができるよう支援を行います。

連携支援体制



アクセシビリティ・コミュニケーション支援室は、学内の教育及び学生支援組織と連携をしながら障害のある学生の修学支援を中核に行います。

- ・学生本人からの相談だけでなく、教職員やご家族からの相談も受け付けています。
- ・個々のコミュニケーション・学修・就職活動等の問題や困難さに向き合います。
- ・サポートチームを個別に形成し、学生本人の同意のもとに支援に必要な情報を共有して、統一感のある支援を行います。
- ・問題や困難さを整理して、解決や解消のための道筋や、実行に移すための方策を立てます。また、その実行そのものをサポートします。
- ・学生を支援している教職員やご家族へのサポートも行います。

支援者は、学生と教職員がお互いの理解を深められるよう
メディエーター(仲介者)としての役割を果たします。



学生と教職員、双方が納得する適切な配慮とはなにかを探索していきます。

合理的配慮の探求

合理的配慮… ・ 特定の場合(個別の状況)において必要かつ適当な変更および調整
・ 均衡を失したまたは過重な負担を課さない

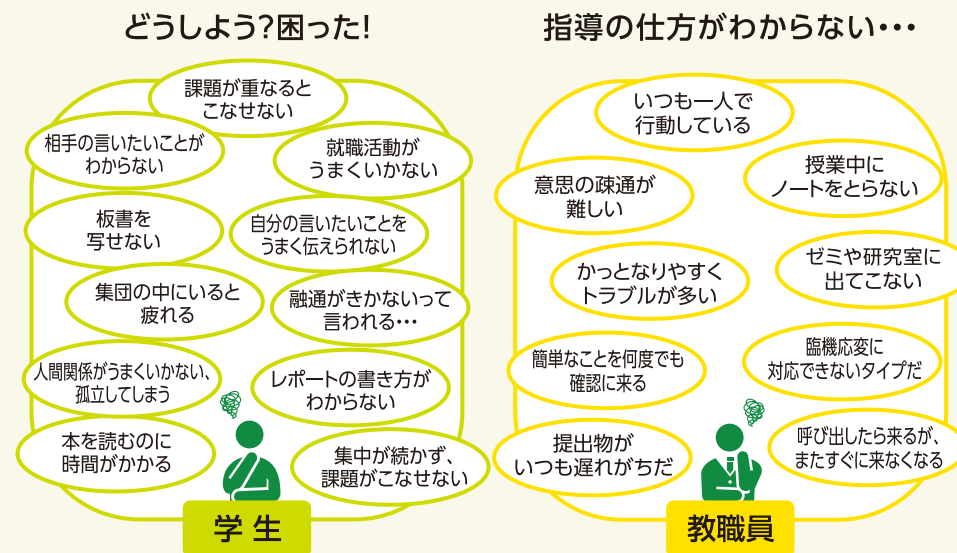
※「合理的配慮は、双方の建設的対話による相互理解の中で柔軟に対応がなされるものである」と、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針に明記されています。

トータルコミュニケーション支援

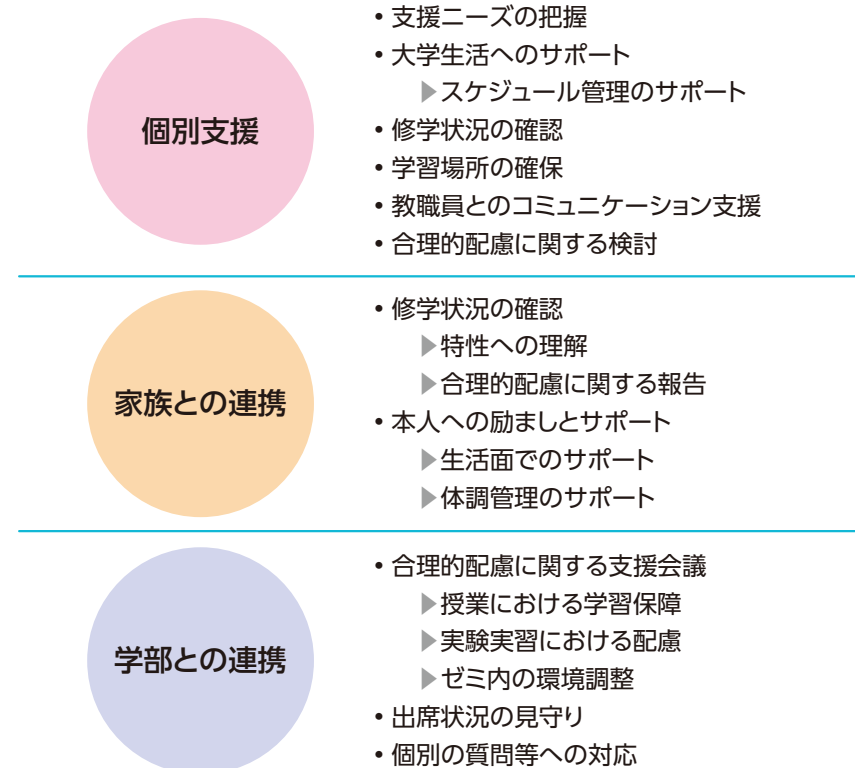
「社会的コミュニケーションの問題や困難さ」に焦点を当てた支援を「包括的(トータル)」に行います。

発達障害	・履修登録支援 ・自習や休憩場所の確保 ・教職員とのコミュニケーション支援 ・時間管理のサポート
精神障害	・受講時の配慮(座席の位置、途中入退室の許可) ・自習や休憩場所の確保

こんな気持ちになったら相談してみよう!



支援内容



身体障害学生支援

個々のニーズに合わせた、物的・人的支援を行います。

物的支援 大学生活を送るために必要な支援機器の貸し出し

人的支援 学生ピアサポーターが中心となり支援

聴覚障害	・パソコンノートテイク・ノートテイク ・手話通訳 ・映像資料の文字起こし、字幕付け ・受講時の配慮(座席の位置、重要事項の文書による提示等)
視覚障害	・講義資料・試験問題などの電子データ化・拡大コピー ・対面朗読、代筆、代読 ・ガイドヘルプ(学内移動) ・拡大読書器等の利用 ・受講時の配慮(座席の位置、板書の撮影許可等)
肢体不自由	・代筆、車椅子介助(学内移動) ・車両入構及び駐車許可 ・受講時の配慮(座席の位置)
病弱・虚弱	・ガイドヘルプ(学内移動) ・車両入構及び駐車許可 ・受講時の配慮(座席の位置、途中入退室の許可)

各種貸し出し機器

- ・ICレコーダー
- ・ノートテイク用ノートパソコン
- ・タブレット端末
- ・電子メモパッド
- ・音声認識ソフト
- ・パソコン用LEDライト
- ・拡大ルーペ
- ・遠隔支援機器
- ・手動式車椅子
- ・車椅子用机
- ・簡易型スロープ

支援活動用語の説明

パソコンノートテイクとは……… 授業の内容やその場で起こっていることをパソコンに打ち込んで伝えること
 ノートテイクとは……… 授業の内容やその場で起こっていることを手書きによって伝えること
 テキストファイル文字校正とは… スキャナーで読み取ったテキストや資料の校正をすること
 映像文字起こし・字幕付けとは… 講義で使用する映像教材の音声文字を文字化し、映像に字幕をつけること

支援開始までの流れ

連絡



学生会館 2階

電話



076-445-6910

メール



hacs@ctg.u-toyama.ac.jp

支援内容について面談



修学の困りごとに関すること

合理的配慮に関すること

支援開始

お気軽にお問い合わせください!